

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

新西町内会創立70周年記念式典

8月22日開催報告

新西町内会創立70周年記念式典が8月22日新西会館で行われた。

コロナ禍であったが換気に努め、市役所や上部団体からの来賓もなく、出席者は町内会役員と功労者のみ。祝賀会もなく簡素に、だが70年の歴史を感じさせる会であった。

◆役員歴10年以上の方を対象に功労者表彰

功労者表彰は、平成4年以降の役員歴が10年以上の生存者が対象で、該当者19名のうち15名が出席した。
菅原副会長の司会で始まり、冒頭この間に亡くなられた役員及び会員の冥福を祈り黙祷が捧げられた。



町内会長挨拶

小野寺会長より、「新西町内会は昭和27年に新西西会として発足し、今日まで多くの役員や会員の努力と協力で発展してきた。近年は大震災や自然災害のほか、大きな事件や事故が多発している。私たちの生活にも少なからず影響がある。このような社会情勢の中、町内会においては、役員のなり手不足や少子化などが町内会運営に支障を来している。しかし、この70周年記念事業を契機として『ふれあいと絆の輪』を広げていきたい。」などと挨拶があった。
式次第に基づき、功労者表彰に移り、功労者一人一人に賞状と記念品が渡された。



表彰状の授与

た方を差し置いて恐縮ですが、町内会の弥栄を祈念いたします。」などと挨拶が述べられました。

◆古い写真をスライド化し 往時を偲ぶ

70周年の歩みでは、町内会の歴史を刻む折々の写真（最も古い写真は昭和53年）がテレビに写し出され、当時の状況を知ること、思い出に触れることも出来た。

特に残されていた写真の中には、婦人部の活動を伝えるものが多々あり、町内会も女性の力が支えていることを改めて感じた次第であった。

（文責 小関）

“追”70周年記念焼肉パーティーは中止しました。



表彰状の授与時の会場風景



受彰者代表挨拶



大型テレビで「70周年の歩み」を振り返る



「70周年の歩み」の中の一コマ



出席者全員での記念撮影

（前列左から）杉内交通部長、岡本監事、小野寺会長、駒形監事、川原総務副部長、渡辺衛生部長、（中列左から）椿本さん、野表さん、岩田総務部長、春田監事、高橋さん、（後列左から）長岡婦人部長、菅原副会長、合田防火防犯部長、蜂谷副会長、小関広報部長、藤田青少年部長、橋本副会長

雪が解ける

8月23日付道新夕刊に「急速に解ける永久凍土」という見出し、解けるって？
それ問題解けるで、氷のとけるは溶けるじゃないの？と、

見つけ嬉しくなったが、用例によると雪が溶けて水になる。雪が解けてなくなる場合で使い分けるとのこと。
（間違ひ字を見つけると異様に嬉しくなる男）

編集後記

子供みこし60周年記念で植えた桜の葉が赤く枯れた。今年の夏は異常な高温▼体温より気温が高くなる体験は初めてだ。服を着ることで暑さをしのぐという赤道直下の人や砂漠の人を思い出す▼日本の7月、8月はスポーツに適する季節とのオリンピック誘致の宣伝文句▼その快適な東京から更に快適なはずの札幌が皮肉にも東京より暑いさなかでのマラソンを観た▼当然テレビで▼たんたと走る人だけが映っていた。報道のカメラ1台、ペースメーカーもいない。白バイのパレードと見間違え警察関係車両もない。ゴールをめざしてただただ走る、シンプルイズベスト。これが世界のマラソンなんだ▼大迫傑7位からよくぞ6位に上がった。（小関）

サインズキド様から看板の寄贈を受けました

